

数学の日 展示リスト



..... 展示の本からいくつかをご紹介します

【数学に触れる】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
解けますか？小学校で習った算数	浜田 経雄／監修	サンリオ	2017	103183570	410/ト
頭の体操として使えるような問題から、一時期ブームとなった「インド式計算」や「中学入試レベル」の難問までが収録されています。算数の考え方について懐かしく思い出することができます。					
北欧式眠くならない数学の本	クリスティン・ダール／著 スヴェン・ノードクヴィスト／絵 枇谷 玲子／訳	三省堂	2018	103352126	410/ダ
公式を使って問題を解くのではなく、実際に図形を描くことや作ること、また遊びの中で数学の世界の面白さに触れていく、北欧で人気の学習読み物です。					
文系もハマる数学	横山 明日希／著	青春出版社	2020	103942365	410.4/ヨ
ロボット掃除機の「丸」と「三角」ではどちらがおすすめか、新幹線が2人席と3人席になっている数学的理由など、身近な事象を数学で解き明かしていきます。					
不思議な数πの伝記	Alfred S. Posamentier／著 Ingmar Lehmann／著 松浦 俊輔／訳	日経BP社	2005	019039108	414.1/ホ
円の面積や円周を求める際に習う、円周率をあらわすπ。その正体や歴史、数学者たちをひきつけてやまない魅力について解説しています。エピローグとしてπの小数点以下10万桁までが掲載されています。					

【数学者】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
天才数学者列伝	アミール・D. アクゼル／著 水谷 淳／訳	ソフトバンク クリエイティブ	2012	101646931	410.2/7
古代ギリシャのターレスから、ピュタゴラス、アル＝フワーリズミー、李治、デカルト、ライプニッツ、ガロア、カントール、グロタンディークまで数学史に名を遺す天才数学者たちの偉業とその生涯について記されています。					
江戸の天才数学者	鳴海 風／著	新潮社	2012	101658431	419.1/ナ
江戸時代、鎖国政策のため和算（日本の数学）は独自の発達を遂げるようになりました。江戸時代に活躍した、吉田光由や関孝和などの和算家を時系列で紹介し、和算の歴史と魅力に迫っていきます。					
世にも美しき数学者たちの日常	二宮 敦人／著	幻冬舎	2019	103666629	410.2/ニ
7人の数学者と4人数学マニア取材した未知なる世界の記録。数学に親しむ人たちの考え方や見えている景色が一体どのようなものなのか、垣間見ることができます。					

【小説】

資料名	著者	出版社	出版年	資料コード	請求記号
博士の愛した数式	小川 洋子／著	新潮社	2003	101982512	X913.6/オ
交通事故によって80分しか記憶がもたなくなってしまう天才数学者と、家政婦とその10歳の息子。3人の交流を軸に、驚きと喜びに満ちた、かけがえのない日々が綴られています。第1回日本数学会出版賞、第1回本屋大賞受賞作。					
天地明察	冲方 丁／著	角川書店	2009	102725055	X913.6/ウ
江戸時代、初めて日本人の手で編纂された和暦「貞享暦」を完成させた渋川春海の物語。幕の名門に生まれた春海が数学を学び、暦学と出会ったことで「日本独自の暦」作りに邁進していく姿が描かれています。					
すべてがFになる	森 博嗣／著	講談社	1998	104020890	B913.6/モ
N大助教授犀川創平と教え子の西之園萌絵が、絶海の孤島で密室殺人に遭遇し、天才プログラマーの残した謎に挑みます。第1回メフィスト賞受賞作で、S&Mシリーズの第1作。					